

1 建築概要

- ・住 所：飯綱町大字牟礼1188-1
- ・竣 工 年：1998年（2024年現在で築26年）
- ・規模構造：地上3階建＋塔屋1階、RC造
- ・敷地面積：2,900.01㎡
- ・建築面積： 622.38㎡
- ・延床面積：1,144.88㎡
- ・主要用途：博物館

3 主な諸室・機能

- 1階：展示室A（常設展示：北国街道＋牟礼宿）、小ホール、事務室・学芸員室、収蔵庫、荷解室、男女WC
- 2階：展示室B（常設展示：自然に生きる民、遺跡は語る、矢筒城と飯縄権現、変わりゆく牟礼、天然記念物）
創起庵（企画展示、壁面展示ケース）
- 3階：展示室C、天体観測室

4 基本設計に至る背景と本施設の課題

①基本設計に至る背景

- ・1998年：「むれ歴史ふれあい館」の開館
- ・2005年：旧三水村と旧牟礼村の合併により飯綱町の誕生、その後「いいづな歴史ふれあい館」に改称
- ・2019年：「いいづな歴史ふれあい館協議会」が発足し、リニューアルに向けて検討が進められた
- ・2021年：特別展①「飯綱町の文化財」を開催
- ・2022年：「いいづな歴史ふれあい館のこれから 基本構想」として協議会から提言を受けた
- ・2022年：特別展②「飯綱町と水の恵み・用水」を開催
- ・2023年：「いいづな歴史ふれあい館のこれから 基本計画」を策定
- ・2023年：特別展③「飯綱町と食べごと文化」を開催

②現在同施設が抱える問題点（課題）

町の誕生から19年が経過した現在も展示の大半は旧施設のままであり、町をテーマにした新たな展示を組み込み、時代の変化を見据えた博物館機能の強化が急務の課題である。これまでに協議会等で出された様々な意見や提案、それらに基づく基本構想・基本計画を基に、本施設のあるべき姿をふまえ改修範囲を定めた。

③博物館のハード（建築）とソフト（展示）

2024年で築26年を迎える本施設は、鉄筋コンクリート造（RC造）であるが、耐用年数は減価償却資産としては47年である。当初の設計思想や施工状況、竣工以降のメンテナンス状況によって個体差が大きいが、構造体の耐久性という観点では、一般的に50～100年程度もある。仮に建築寿命を50年と想定した場合、本施設は全体の1/2程度であり、まだまだ道半ばである。一方、ソフトとしての「展示」が先に寿命を迎えては本末転倒であり、2025年の町政20周年に向けて展示内容の更新を行うものである。基本設計では、一連の整備事業の流れを鑑み、展示手法の検討を行い基礎資料をまとめた。

2 開館以降の主な改修履歴と今後の改修予定

- ・H9年（1997）施設躯体工事竣工
- ・H10年（1998）展示工事竣工・開館
- ・H18年（2006）合併浄化槽を公共下水道へ変更
- ・H21年（2009）玄関庇改修
- ・H23年（2011）玄関外構改修（動線変更、スロープ拡張）
- ・H24年（2012）倉庫増築
- ・R6年（2024）予定 展示改修、高圧受電設備更新
- ・R7年（2025）予定 屋根再塗装
- ・R8年（2026）予定 エレベーター更新

5 上位計画との整合性

令和3年12月策定の第2次総合計画（後期基本計画：令和4年度～8年度）には下記の記載がある。

- ・分野2「学び」
- ・政策2「スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承」
- ・施策2「伝統文化の保存・継承」

上記において、「④自然や伝統文化の発信拠点・学習拠点として、歴史ふれあい館やアップルミュージアムの展示内容の充実やリニューアルによる機能強化を図ります」と示されている。

基本構想及び基本計画では長期的な施設全体のリニューアルを想定した。段階的により良い施設へリニューアルしていくことを念頭に、R6年度の施設整備では「展示の部分的更新」を主眼とした計画を取りまとめた。

6 展示リニューアル基本方針（基本計画より抜粋）

本施設は第一に飯綱町民のための博物館であることを目指す。町内外の来館者がここに来れば町のことが分かる、この町の良さが分かる情報拠点となるよう、本計画では展示の核として以下3点を定める。

A. 古くからあったこの地の人の暮らし」それを可能にした理由は？

→1階：北国街道、牟礼宿の展示を通して、町歩きにも役立つガイド機能を盛り込む

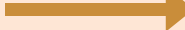
B. 世界にたった一つの飯綱町、他にはない特性と魅力の発見

→2階：歴史的変遷（①原始/古代→②中世/戦国→③近現代）と併せて2022年より開催された3つの特別展（文化財展、水の恵み展、食べごと文化展）を生かした常設展示にする

C. 北信濃の里山の暮らしの豊かさを再確認と発信

→3階：飯綱町全体の地形模型を中心に、町を取り巻く自然の秘密を知る常設展示室と既存天体観測室、町と山々の眺望を十分に生かすくつろぎ空間として整備する

7 今後の整備スケジュール（予定）

項目 \ 年度	R6年（2024年）						R7年（2025年）
	3月	4月	6月	8月	10月	12月	3月～
基本設計							
プロポーザル	業者選定期間 						
実施設計	撤去図 採寸 製作図 						
撤去工事	撤去・解体 						
新設工事	製作2ヶ月 現場2ヶ月 						
ふれあい館の 予定・準備	← 休館期間 →						準備 → リニューアル オープン

※今後様々な理由により変更になることが想定されるため目安とする

基本設計説明書 概要版-2

1) 2階常設展示室の主な改修項目

- ・床仕上の張替え
- ・壁仕上の撤去・新設（----- 不燃有孔板仕様）
- ・EVホールから常設展示室に入る導入部はサインを新設し、常設・企画展示を明確に
- ・既存の壁面展示台を再利用し、展示物を立体的に展示できるよう多様な組み合わせが可能なBOX展示台を新設
- ・既設展示台に組み込まれた手摺を撤去し展示品が主役に見える仕様に改修する（-----）
- ・現況の展示室中央にある展示ケースを撤去し多目的なフリースペースを広く確保する
- ・サイン計画は多言語表記を検討する
- ・可動展示台を新たに計画

2) 2階企画展示室の主な改修項目

- ・既存壁面展示ケース内の壁紙張替え+枠再塗装
- ・映像鑑賞コーナー設置（可動型ヤドカリブース）
- ・壁面を展示壁（----- 不燃有孔板仕様）に改修
町民持込み企画を実現出来るように配慮
- ・照明設備のLED化改修
- ・ピクチャーレールを設置

3) 3階常設展示室の主な改修項目

- ・展望を楽しみ、くつろげる窓辺整備
- ・北信五岳から宇宙までパネル展示
- ・天体観測時の休憩スペース兼用できるように整備する
- ・環境省との連携を行い、国立公園の紹介をデジタルサイネージ等で紹介
- ・換気・空調設備の不具合を解消

4) 1階常設展示/その他主な改修

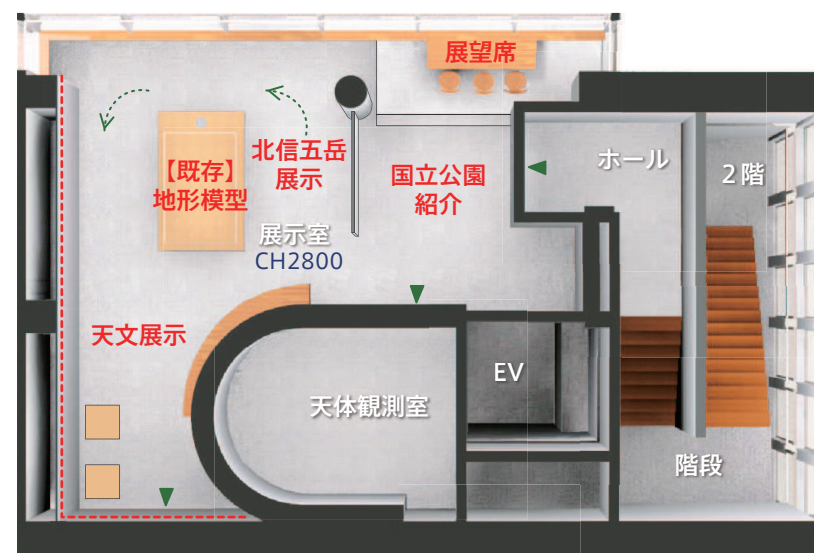
- ・館内マップのサイン更新
- ・飯綱町全域地形図パネル設置
- ・牟礼宿展示周辺に町歩きガイドの増設
- ・小ホール内にまち紹介コーナーの設置
- ・エントランス「つけ木展示」の撤去



2階平面イメージ図（改修概要）

展示手法：「説明型展示」から「共感型展示」へ

- ・視覚的・体感的な出会いにどれほどのインパクトを与えられるか。展示される対象は所蔵される文化財や展示物から選抜された一握りのものであり、町の歴史の断片に過ぎない。歴史にふれる入口として、来館者の「知っている」を超えていく切り取り方で、心躍る瞬間を生み出していく。



3階平面イメージ図（改修概要）



3階常設展示室/内観イメージ



2階EVホール/展示室導入部のイメージ



2階常設展示室/内観イメージ



2階常設展示室/食と風土の展示イメージ（箱館体験ブース）



2階企画展示室/内観イメージ